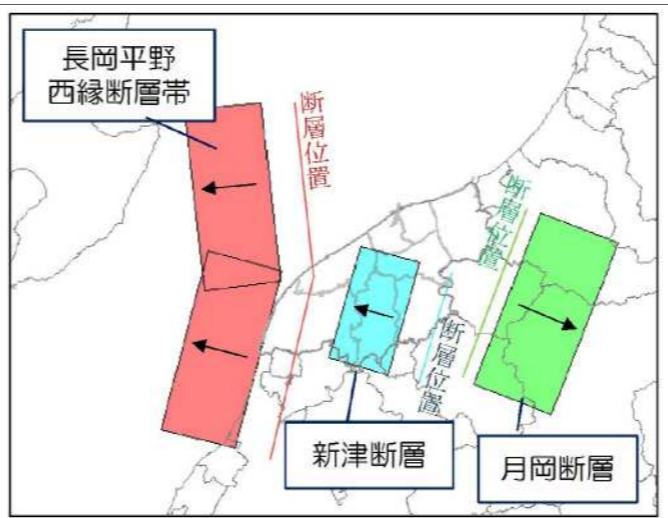


	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年  断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。  月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上  断層の活動性 0.4m/千年程度

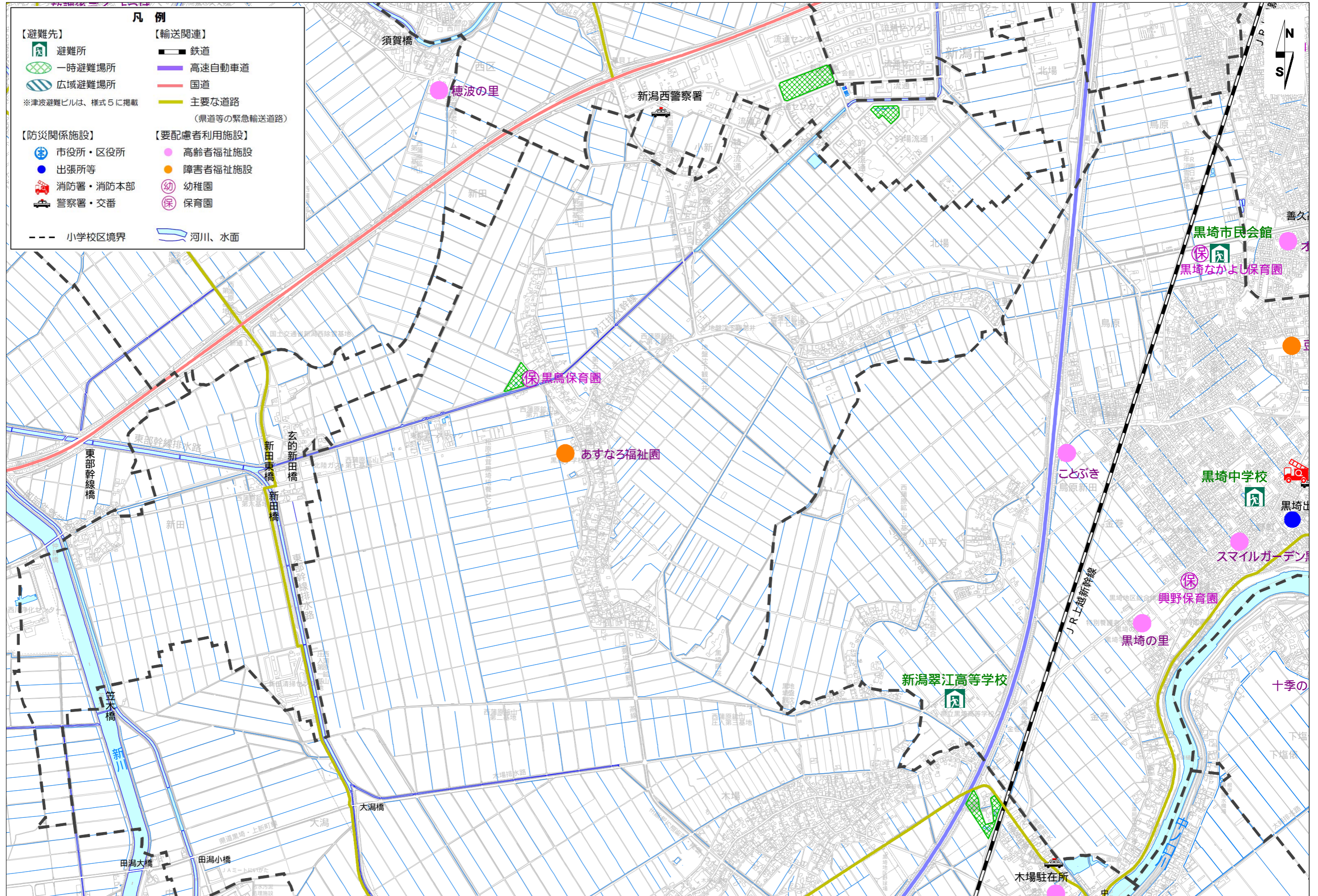
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。  
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】  
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>  
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

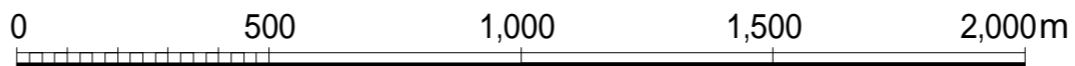


← は、断層の傾きを示しています。

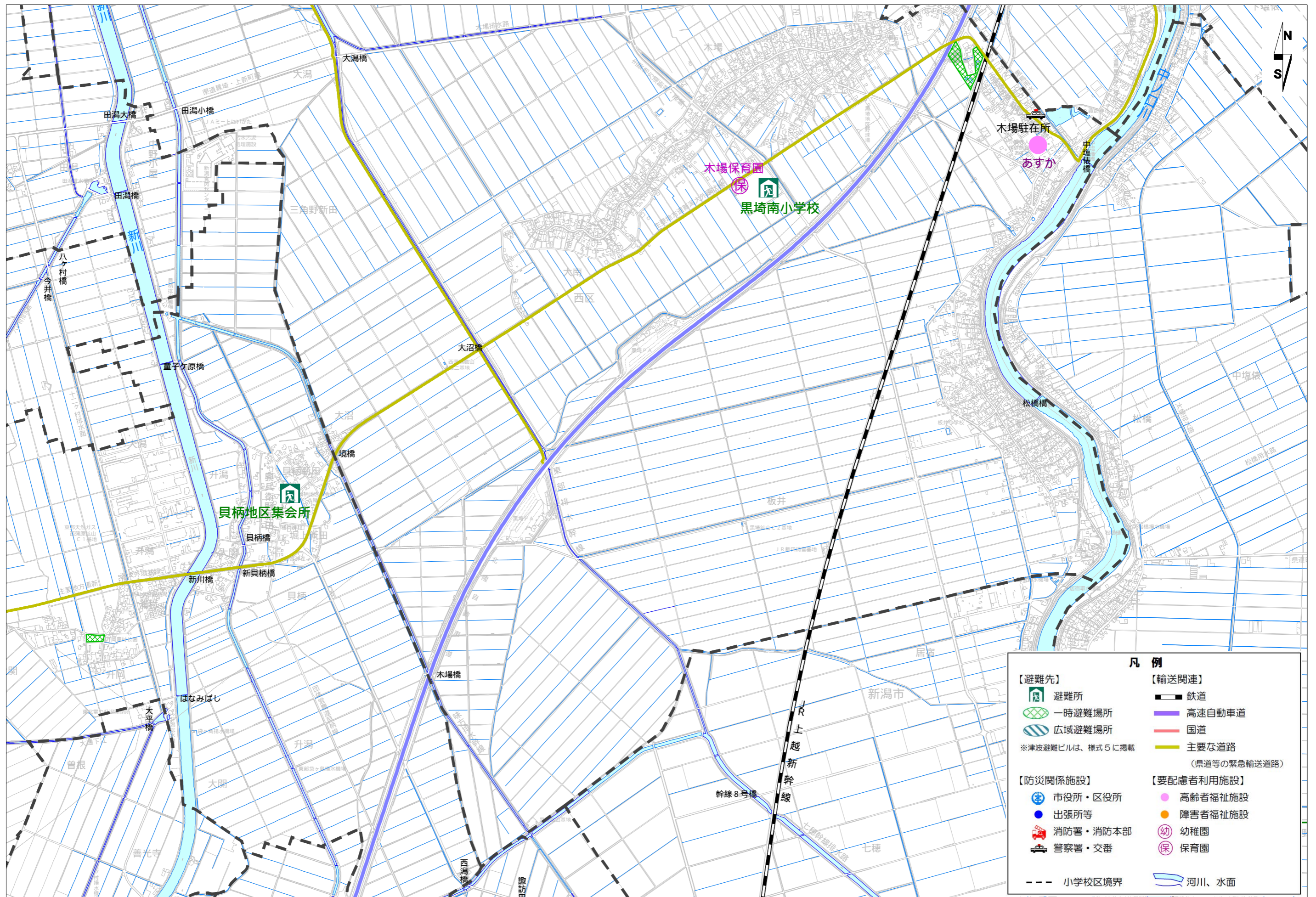




[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

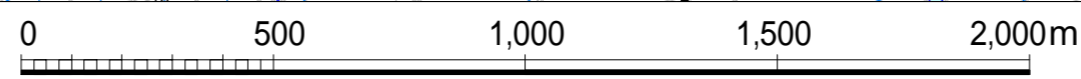




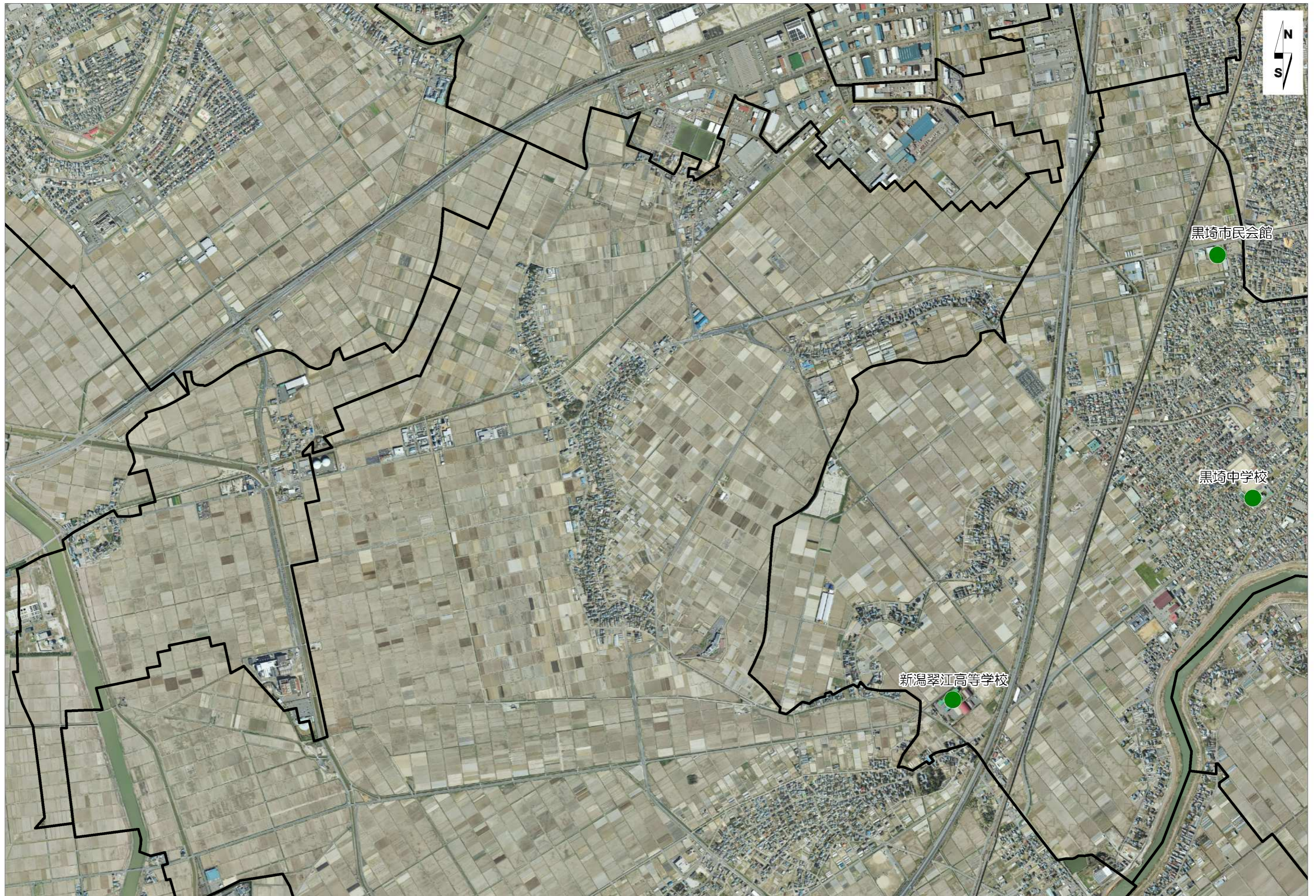


凡例	
<b>【避難先】</b>	<b>【輸送関連】</b>
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
<small>※津波避難ビルは、様式5に掲載</small>	主要な道路 (県道等の緊急輸送道路)
<b>【防災関係施設】</b>	<b>【要配慮者利用施設】</b>
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
小学校区境界	河川、水面

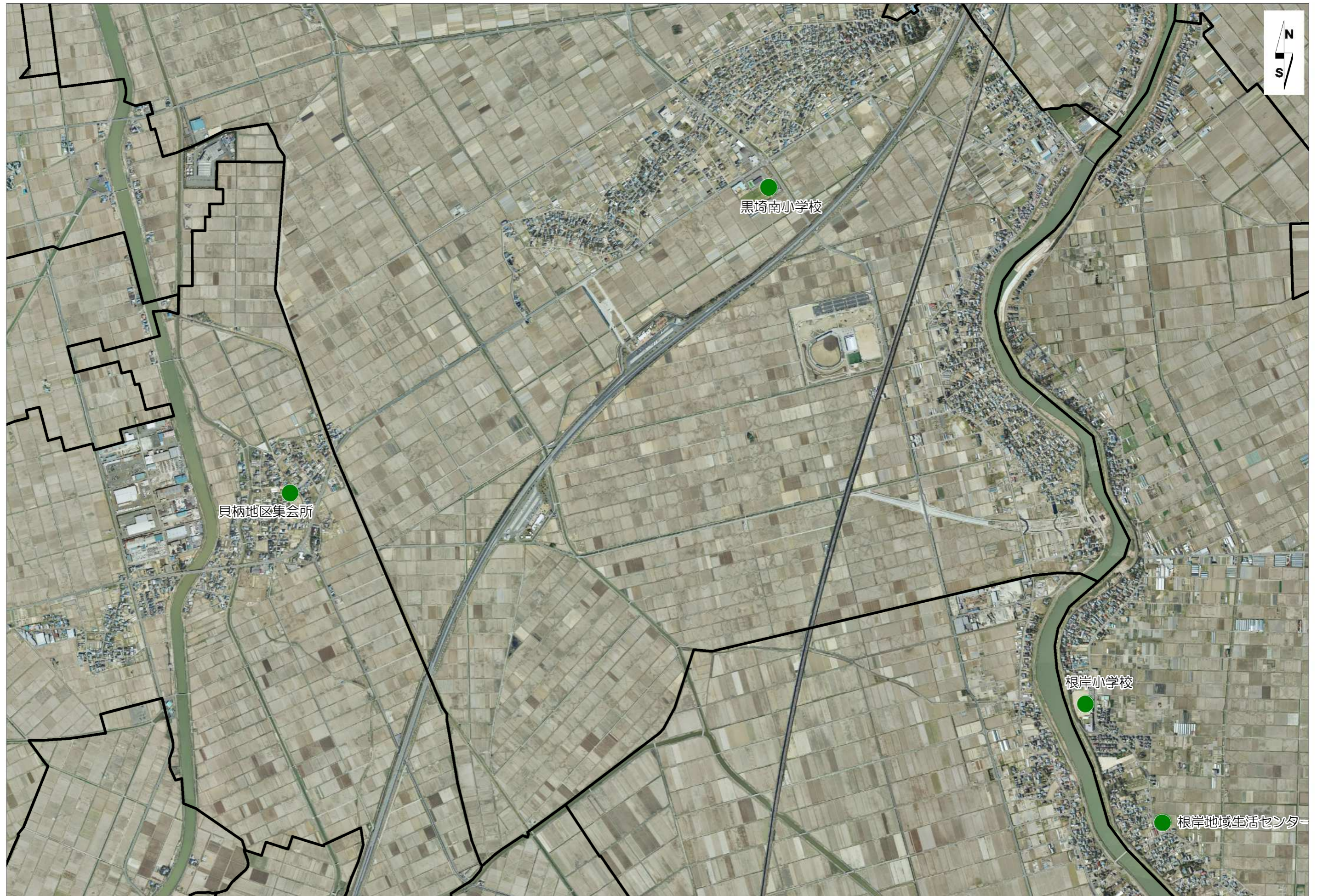
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)







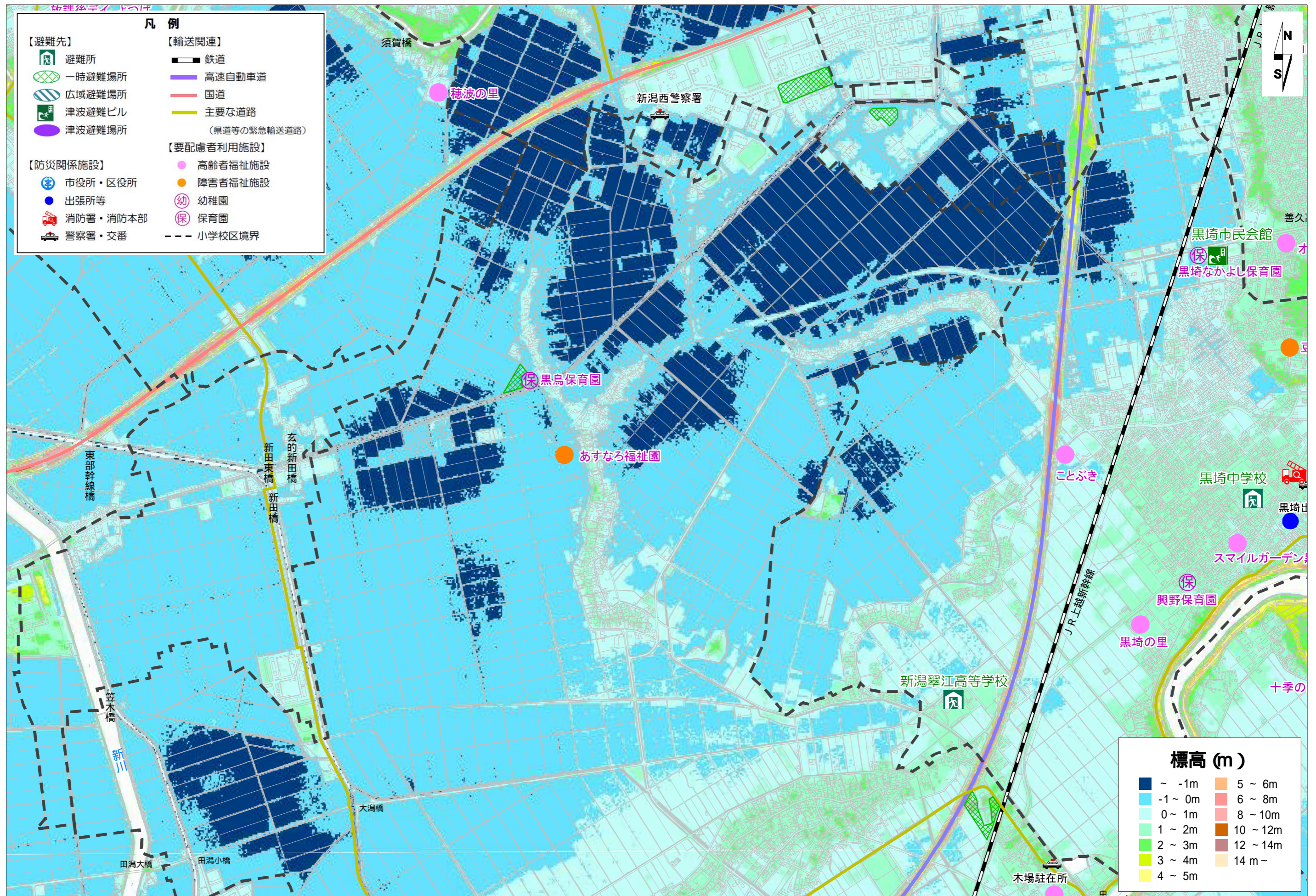




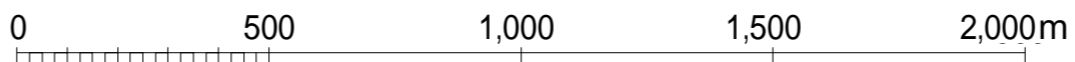
〔出典〕 航空写真(平成26年4月)

0 500 1,000 1,500 2,000m

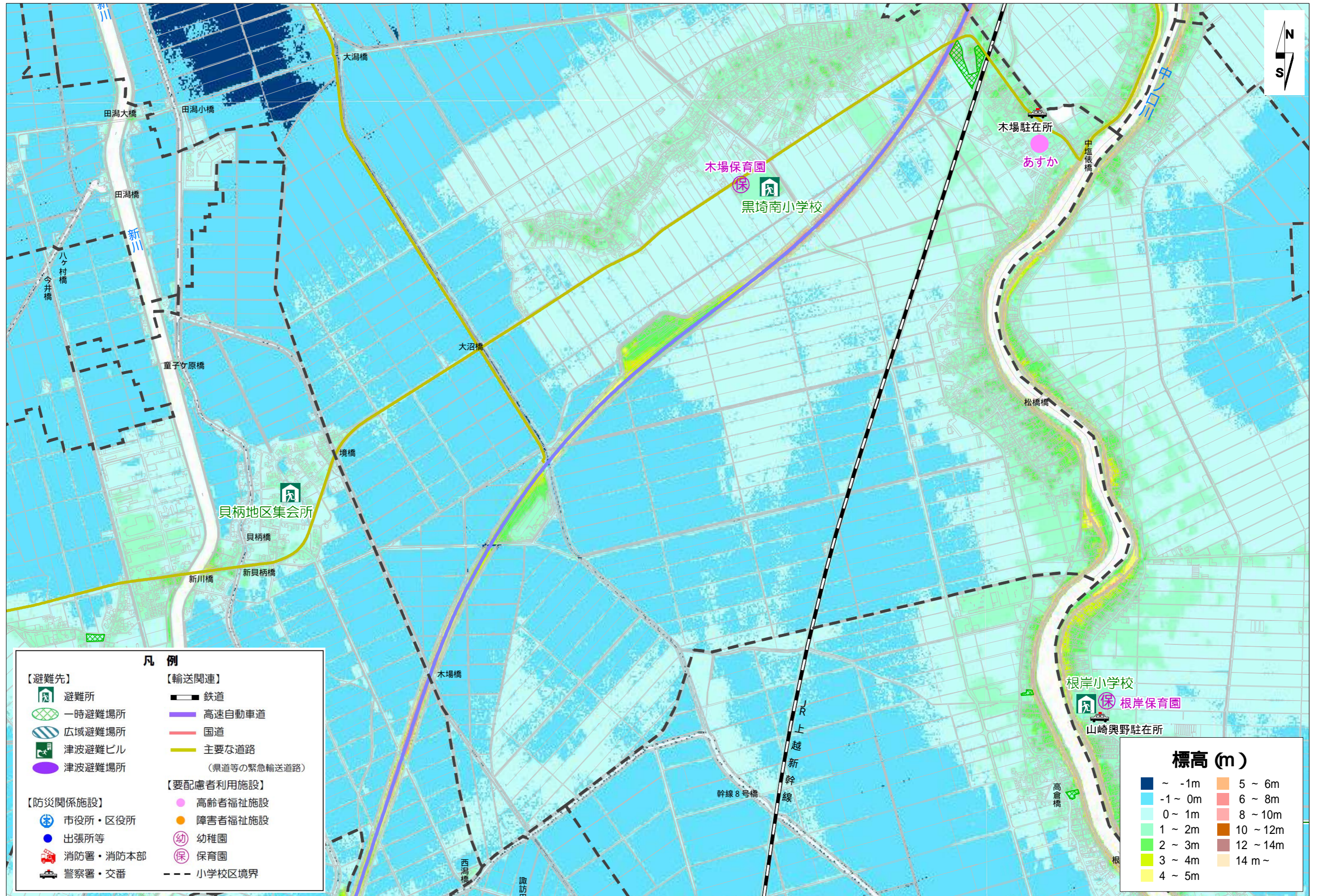




[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)







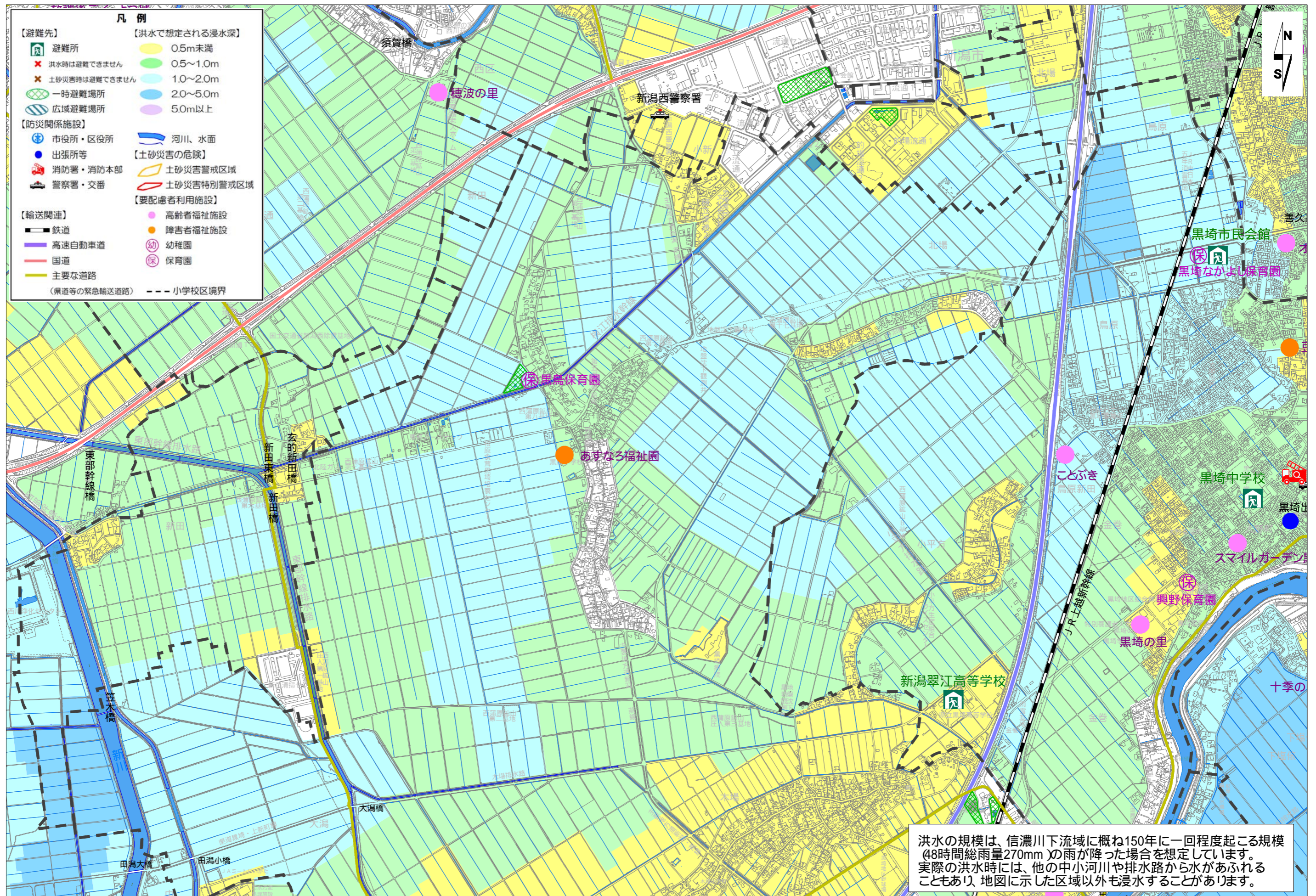
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
5mメッシュDEM(国土地理院,平成25年)

0 500 1,000 1,500 2,000m

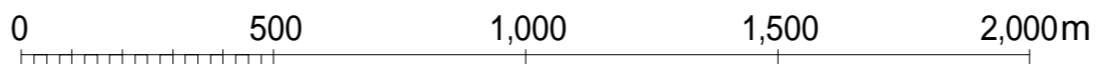
標高 (m)	
~ -1m	5 ~ 6m
-1 ~ 0m	6 ~ 8m
0 ~ 1m	8 ~ 10m
1 ~ 2m	10 ~ 12m
2 ~ 3m	12 ~ 14m
3 ~ 4m	14 m ~
4 ~ 5m	

- 凡例**
- 【避難先】**
    - 避難所
    - 一時避難場所
    - 広域避難場所
    - 津波避難ビル
    - 津波避難場所
  - 【防災関係施設】**
    - 市役所・区役所
    - 出張所等
    - 消防署・消防本部
    - 警察署・交番
  - 【輸送関連】**
    - 鉄道
    - 高速自動車道
    - 国道
    - 主要な道路  
(県道等の緊急輸送道路)
  - 【要配慮者利用施設】**
    - 高齢者福祉施設
    - 障害者福祉施設
    - 幼稚園
    - 保育園
    - 小学校区境界

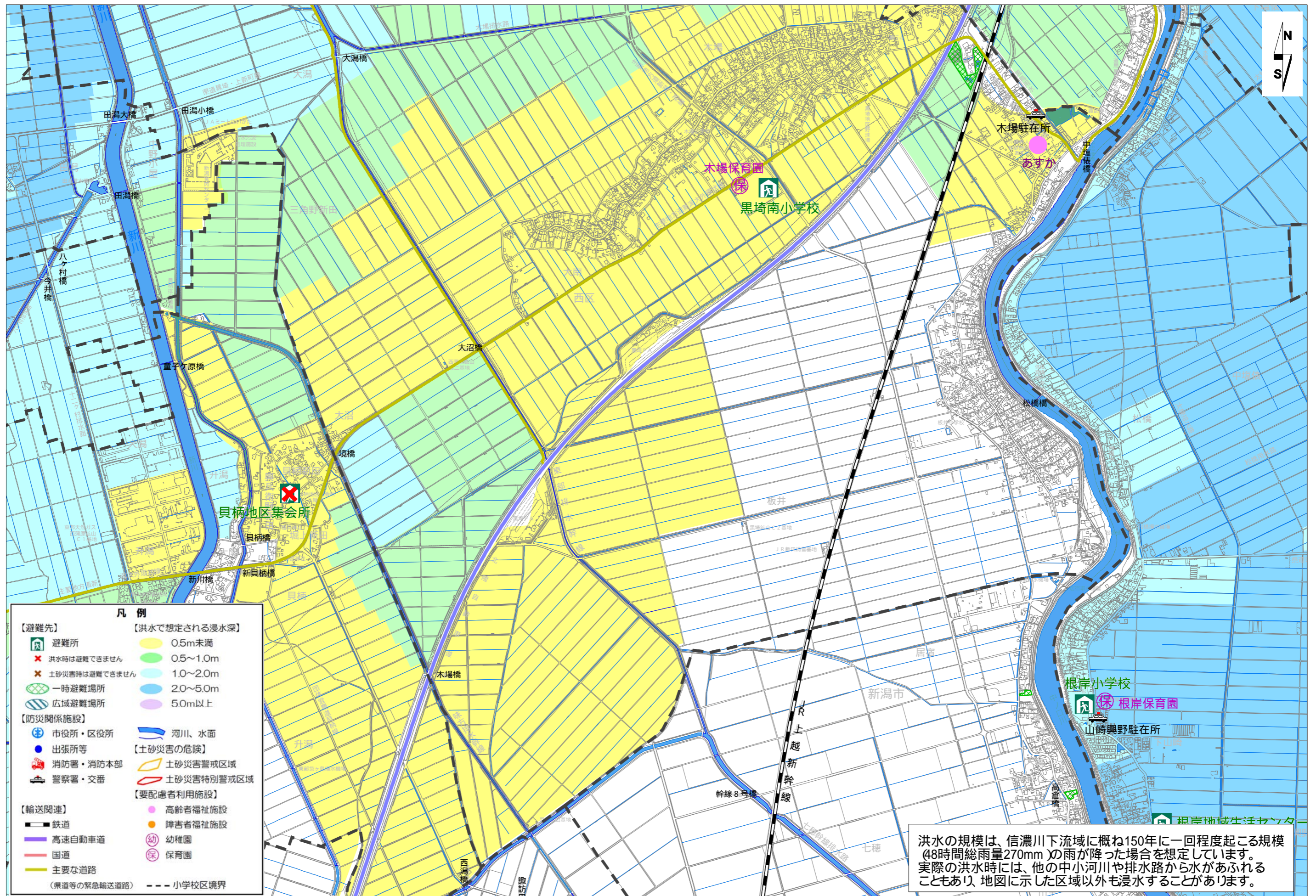




[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
 信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

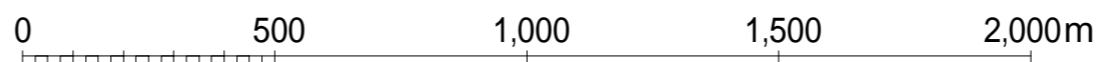






洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

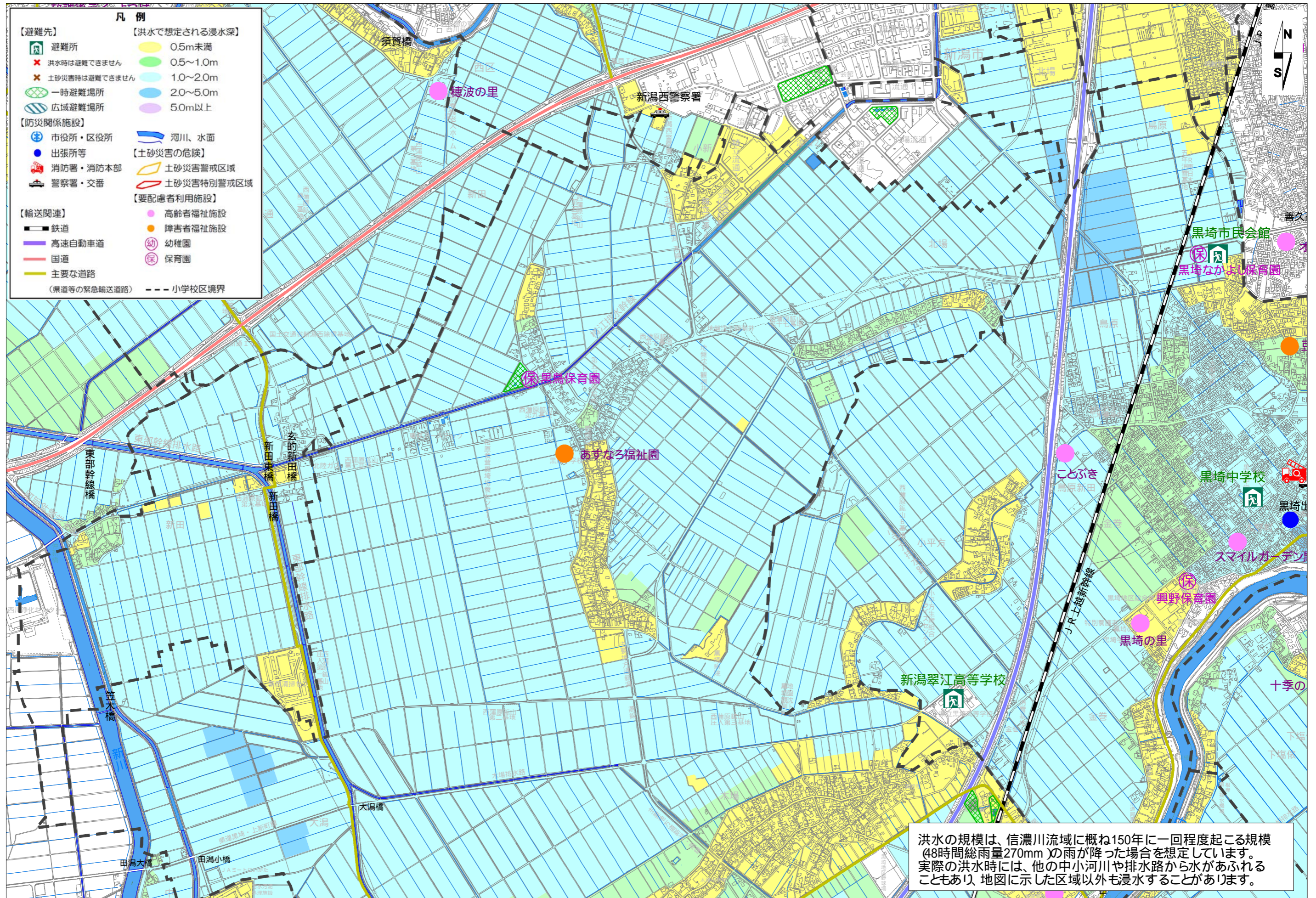
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



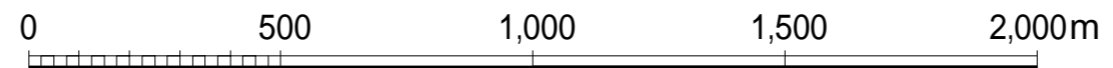


様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（中ノ口川）

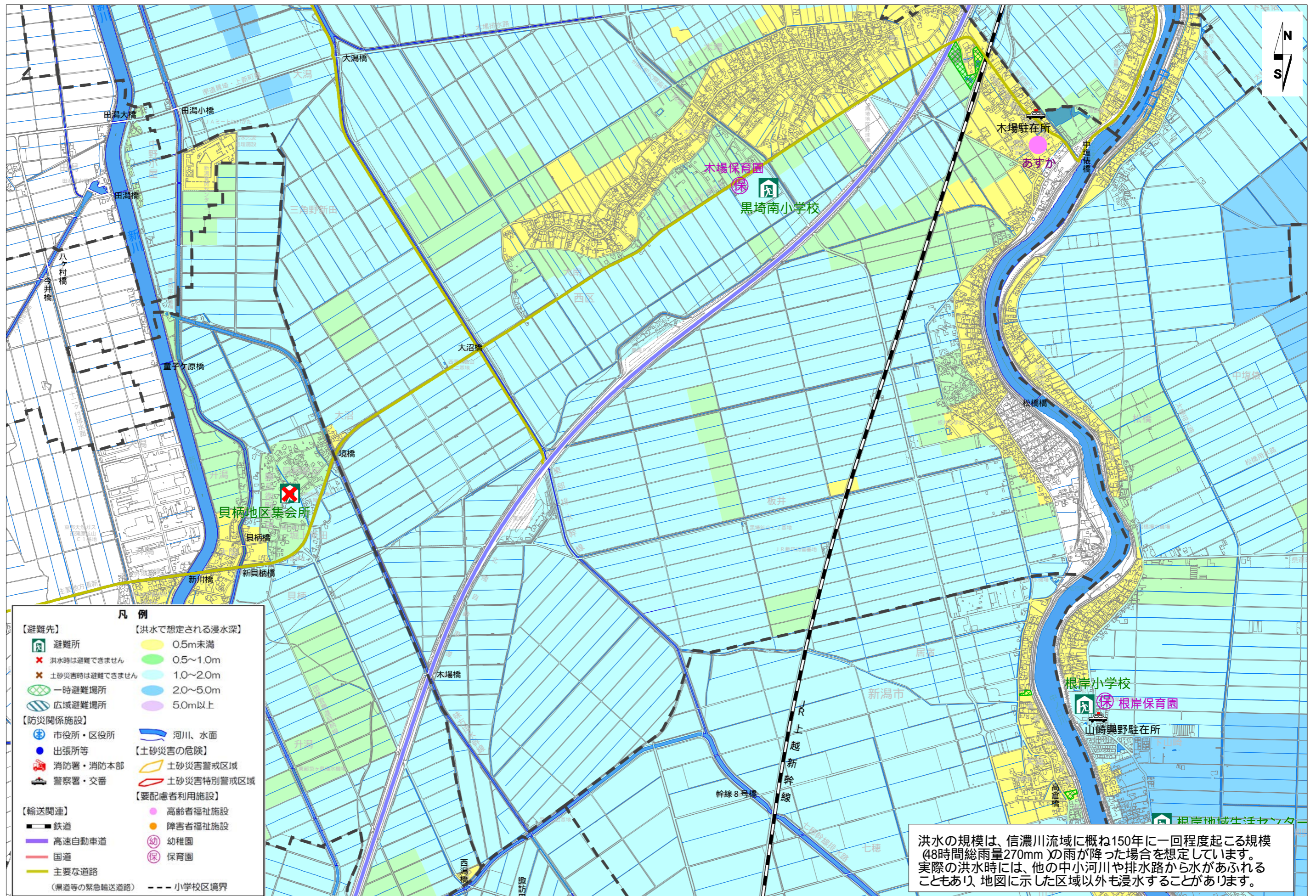
黒埼南小学校区(1)



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
中ノ口川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月15日)



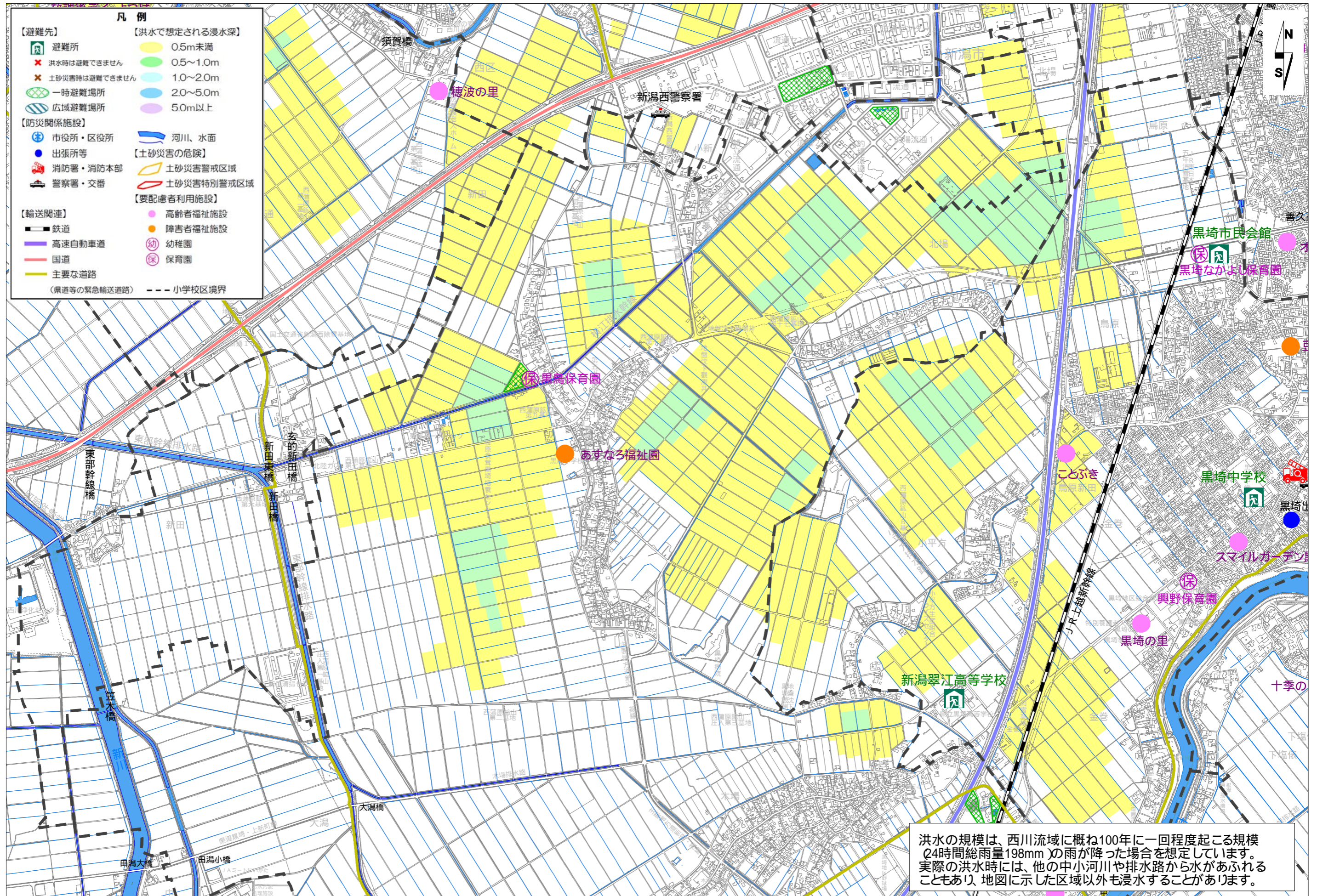




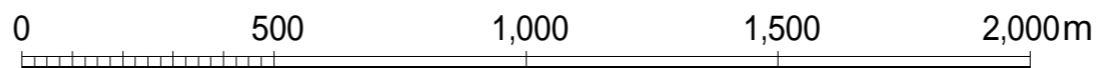
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
中ノ口川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月15日)

0 500 1,000 1,500 2,000m

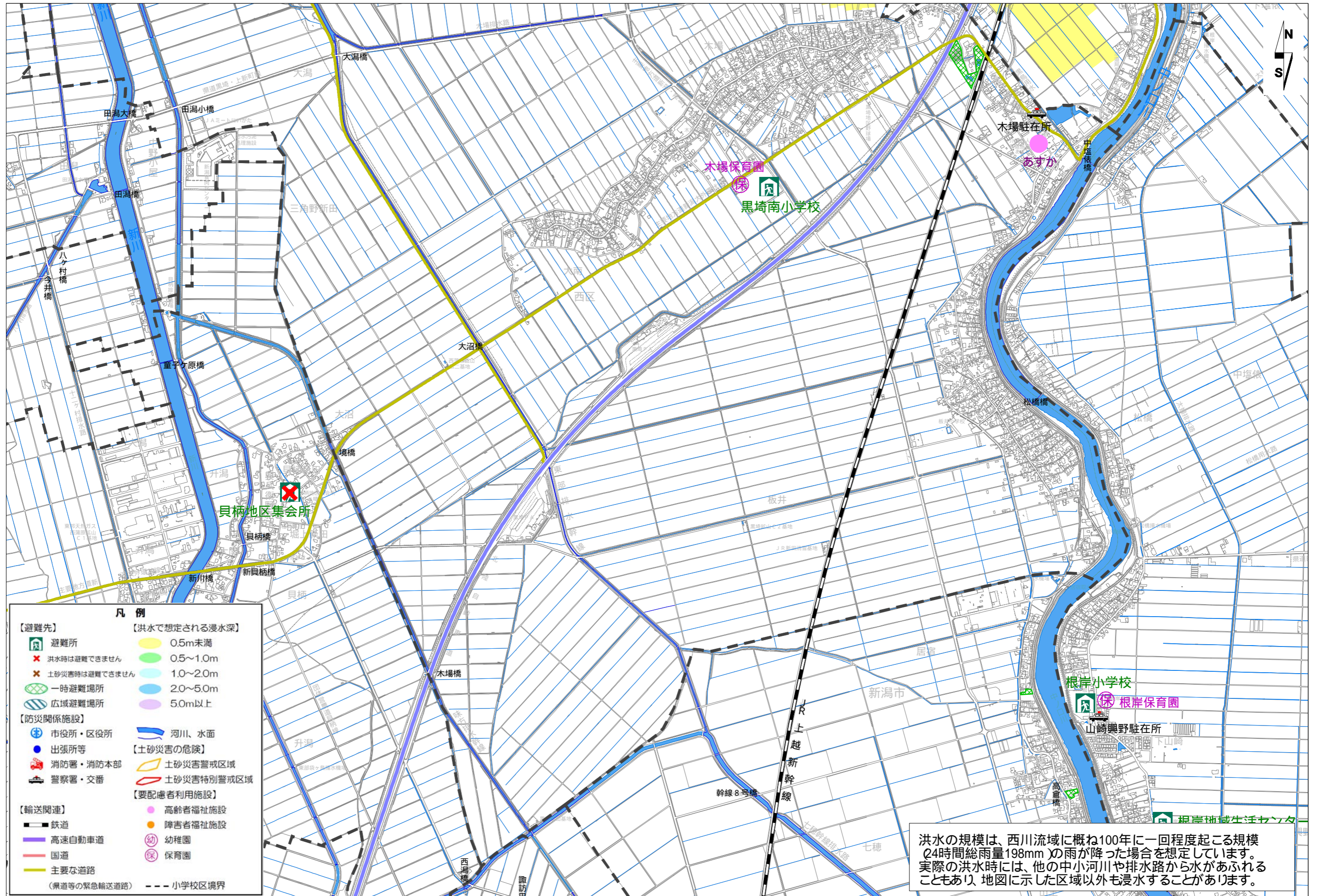




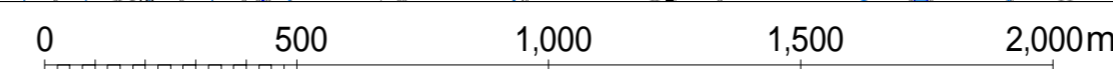
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
西川浸水想定区域(新潟県,平成17年6月20日)





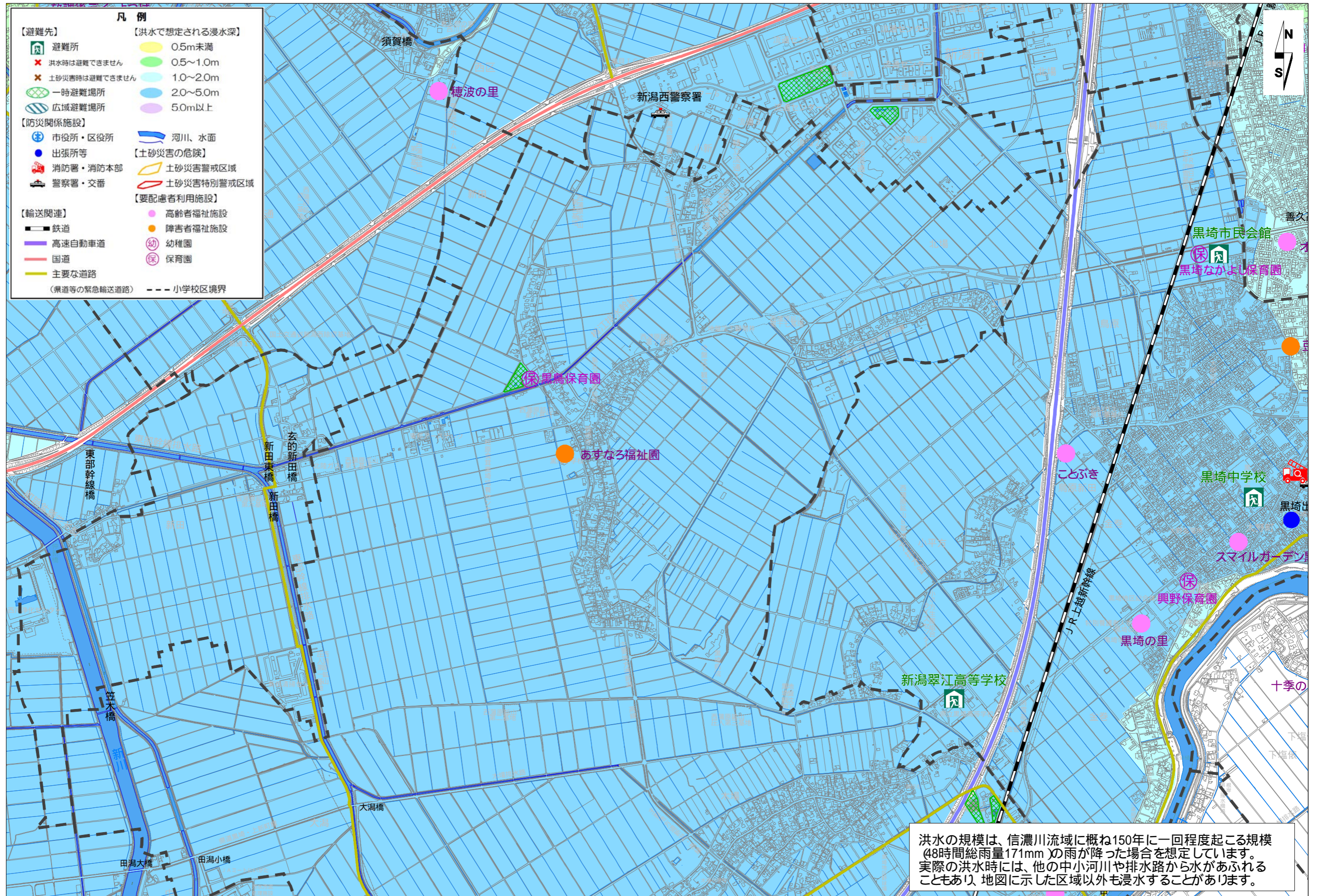


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)  
西川浸水想定区域 (新潟県,平成17年6月20日)



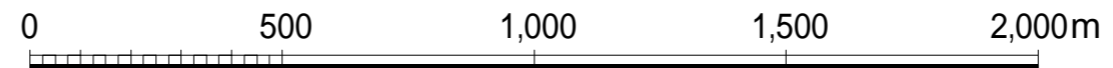
洪水の規模は、西川流域に概ね100年に一回程度起こる規模  
Q4時間総雨量198mmの雨が降った場合を想定しています。  
実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれる  
こともあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。



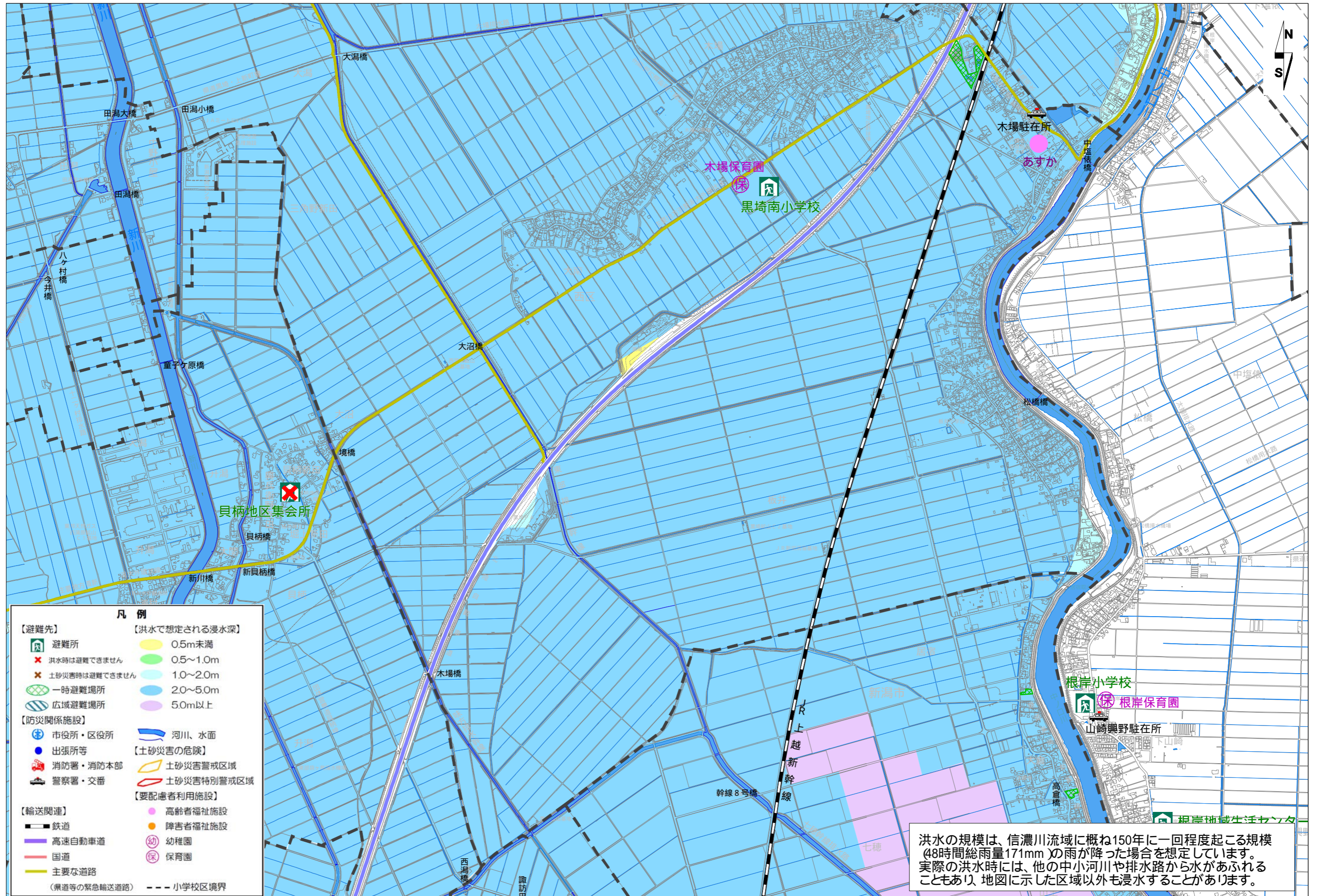


洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量171mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

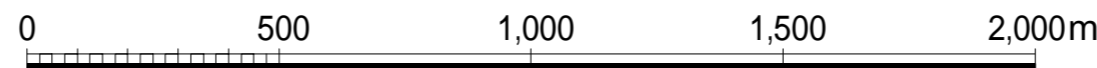




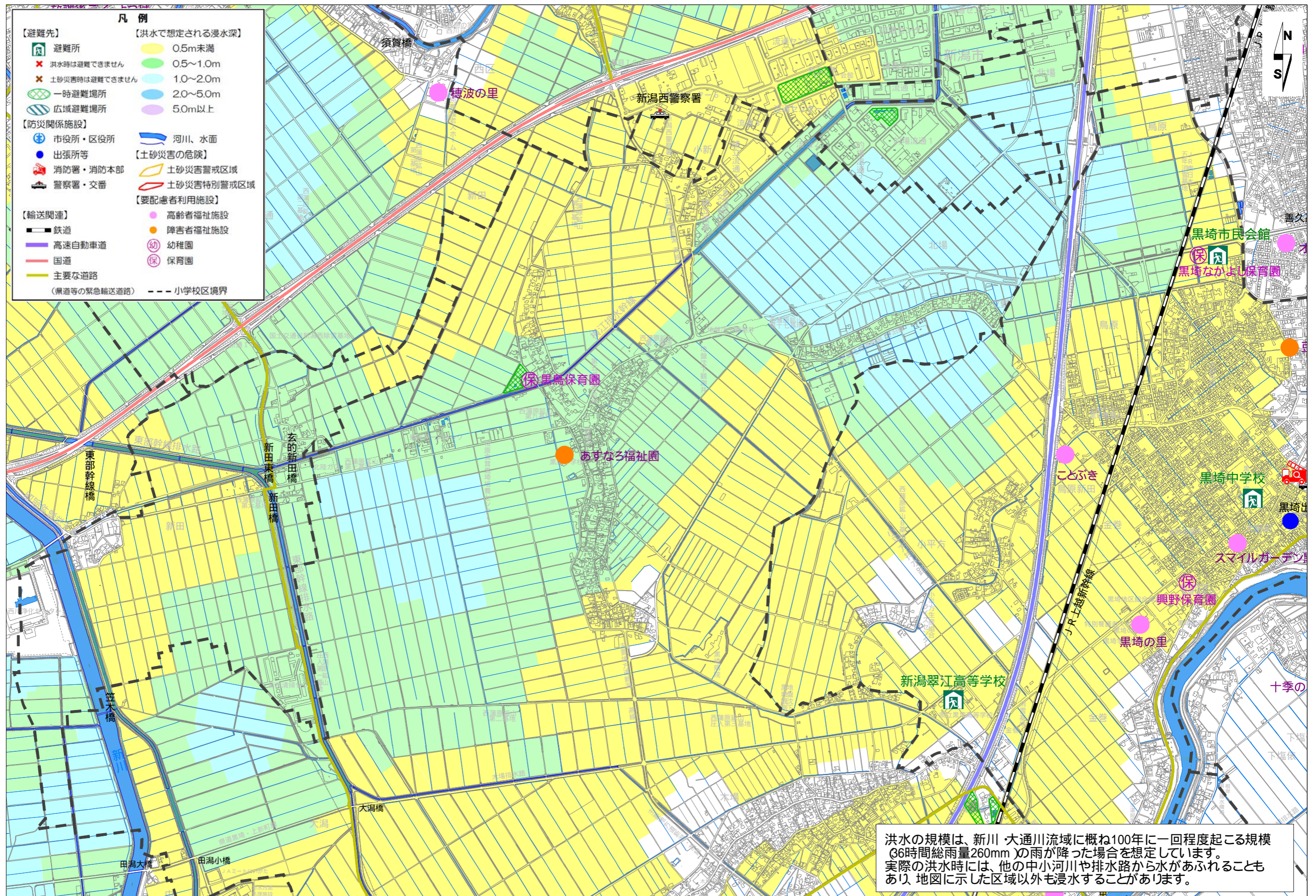


洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量171mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）  
大河津分水路浸水想定区域（国土交通省，平成14年4月30日）



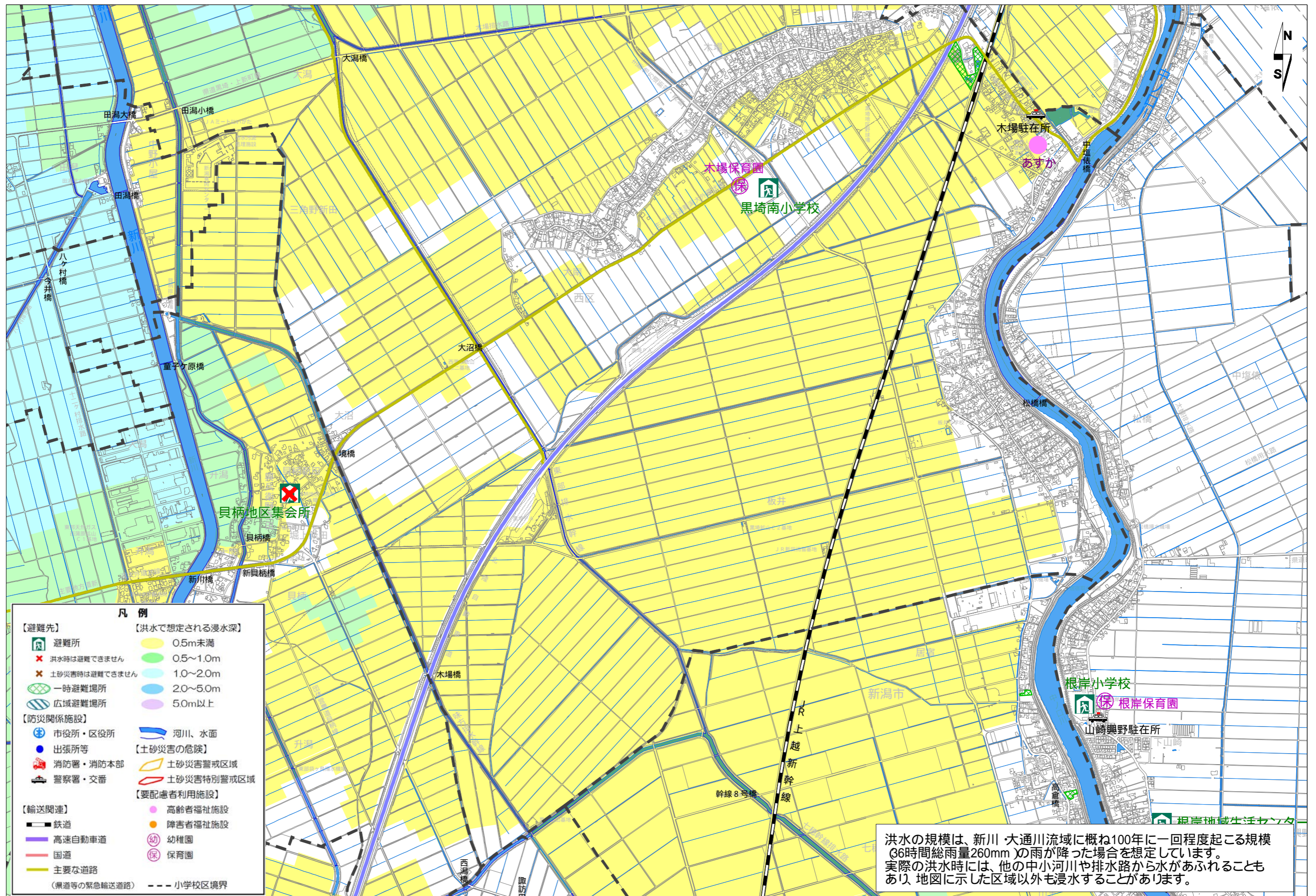




[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)

0 500 1,000 1,500 2,000m





【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)

0 500 1,000 1,500 2,000m

洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模(36時間総雨量260mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。